

FCAだより

2023年4月発行 vol.4

FCA活動報告

FCA(一般社団法人日本音楽作家団体協議会)は音楽作家の権利を擁護し社会的地位の向上を図るため、13の音楽作家団体が集まって活動する組織です。

2022年度臨時社員総会、第3回理事会を開催しました



3月17日、2022年度臨時社員総会と第3回理事会をJASRAC本部理事会室とオンラインを結んでハイブリッドで開催しました。臨時社員総会では石原信一会長が議長を務め、新日本音楽連盟の入会に伴い定款に定める理事の定員数を変更することについて決議いただきました。また理事会では小六禮次郎理事長が議長を務め、著作権対策委員会からの第一次答申、2023年度の事業計画や収支予算案などについて決議いただいたほか、今年1月に実施した音楽作家向けWebアンケートの結果も報告され、クリエイターたちの現状や抱える問題などについて共有しました。

・写真はJASRAC本部理事会室とオンラインで開催した会議の様態です

2022年度第4回常任理事会を開催しました



2月21日、2022年度第4回常任理事会をオンラインで開催し、3月17日の第3回理事会議案を審議しました。

・上段左から、JASRAC会議室(石原信一会長、高島じゅん子常任理事、山移高寛常任理事)、エンドウ 常任理事、大谷明裕常任理事、小六禮次郎理事長、奥常任理事

FCAでは今後も「FCAだより」を発行して活動をお知らせしていきます

©2023 一般社団法人日本音楽作家団体協議会

今年1月に音楽作家を対象に実施したWebアンケート(音楽作家の実態・意識把握調査)結果を報告書としてまとめ、HPに公表しました。報告書では、回答者の属性や活動状況、音楽出版者との著作権契約、楽曲コンペ等に関する回答を分析しています。報告書はダウンロードが可能で、報告の概要を解説した動画も用意して充実した内容となっています。このアンケート結果を踏まえ、FCAでは音楽作家が抱える問題の解消に取り組んでいく予定です。



回答者全体では「作品のプロモートが十分でない」が66%で一番多い(①)。
「30代」「40代」「60代」いずれも「作品のプロモートが十分でない」が一番多い(②)。
また「契約内容が一方的に決められてしまっている」、「出版社側の使用料分配の
取り分が大きすぎる」は全体の半数を超える(③)

質問	Yes (%)	No (%)	Don't know (%)
契約を拒否することができない	32	48	20
契約する音楽出版社に選べない	30	58	12
契約内容の詳細について事前に説明されない	38	52	10
契約内容が一方的に決められている	62	38	0
契約内容に関して交渉をしても受け入れてもらえない	10	35	55
著作権の譲渡以外に管理を委ねる方法がない	50	42	8
契約期間が「著作権の存続期間中（死後70年等）」は長すぎる	22	28	50
契約期間が「著作権の存続期間中（死後70年等）」は長すぎる	22	28	50
契約期間が「著作権の存続期間中（死後70年等）」は長すぎる	22	28	50
契約期間が「著作権の存続期間中（死後70年等）」は長すぎる	22	28	50
出版側の使用料分配の取り分が大きい	55	45	0
使用料分配の取り分が大きい	55	45	0
作家から契約満了できる自由度が小さい	25	40	35
契約から10年を経ないで作家から契約満了できない	10	20	70
契約満了の際でも契約解除に応じてもらえない	10	20	70
作品のプロモーションが十分でない	65	35	0
作品のプロモーションが十分でない	65	35	0
作品のプロモーションが十分でない	65	35	0
作品のプロモーションが十分でない	65	35	0
今後の仕事や関係性、自分の立場等が限られていて著作権に関する交渉ができない	38	42	20

[illegible]